

おーじとしずくとたなっちの

あの町この村ぶらり旅

かつらぎ町特集

かつらぎ町は、和歌山県の北東部、伊都郡の西部に位置し、北に和泉山脈、南に紀伊山地を仰ぎ、町の中心部を紀の川が流れています。

『紀伊山地の霊場と参詣道』として世界遺産に登録された丹生都比売(にうひめ)神社や、高野山町石道、万葉集に15首もの歌が詠われた妹背山(いもせやま)など、昔の面影を今に伝える豊かな歴史と自然の町です。

また、「フルーツの町」としても知られ、柿・桃・みかん・ぶどう・梨など、四季折々を通して豊富なフルーツが味わえる観光農園も人気を集めています。和泉山脈のふもと、約400年の歴史と伝統を育む四郷(しご)の山里では、市場の8割を占める、縁起物の串柿が特産物として有名。

さらに、キャンプ場やアウトドア施設、温泉などもこの地ならではの。豊かな自然が満喫できる癒しのスポットがたくさんあります。



かつらぎの人々が支える、歴史と自然の恵み。



かつらぎ町、ココだよ!



天高い秋空に、柿色のカーテン。

日本の串柿の里である四郷地区では、秋が深まり、串柿作りが始まると、農家の軒先や周囲の柿場(干場)に柿の玉のれんが斉に吊され、山里は柿色一色に染めあがります。

毎年11月下旬に行われる「四郷串柿まつり」では、串柿作りの実演や体験、フォトコンテスト、ふるさと産品の販売、四郷千両太鼓が披露され、毎年多くの人で賑わいます。

かつらぎ町へのアクセス

車の場合

「大阪・名古屋・京都方面から」
 松原JCT
 阪和自動車道 和歌山方面
 ↓和歌山IC 約50分
 ↓大和街道 東進
 (国道24号)
 ↓かつらぎ町 約20分

電車の場合

JR新大阪駅から、地下鉄でなんば駅(約15分)。南海電鉄に乗り換え、南海高野線急行で橋本駅(約51分)。
 JR和歌山線に乗り換え、かつらぎ町内の5つの駅へ。

毎年8月15日に花園金剛緑地広場で行われる「星空のつどい」と、8月中旬にかつらぎ公園グラウンドで行われる「かつらぎ夏まつり」は、町の夏の風物詩。夜店や盆踊りがお祭りを盛りあげます。



かつらぎ町、2つの花火大会。

大晦日の豪快な火祭り。

県指定無形民俗文化財に指定されている「大松明押し」は、毎年大晦日に下花園神社で行われる火祭り。1年の厄落としと翌年の豊作祈願として、大晦日の夜に、若い衆が首頭をとり、6メートルの大松明を担ぎあげ祝いの歌を唱えながら境内を練り回します。

かつらぎ町のイメージキャラクター

町発足50周年企画で、全国から案を募集し、町民投票で決定。町民に愛されるキャラたちです。

かきおうじ

フルーツ王国の王子。正義感が強く、王国のみんなに慕われる優しい王子さま。

ももひめ

フルーツ王国のお姫さま。王子を影から見守るけなげな女の子。趣味はあじさいのお手入れ。

なしじい

王国のためにいつも忙しく動き回っている。21世紀になってもまだまだ現役!王国一の働き者。

いちご娘

素直でがんばりやさんの女の子。おっちょこちょいでいつも失敗しては顔を真っ赤にしている

ぶどう兵团

王子を守るため結成された護衛兵。危険を察知するとみんなが集まって房になる。

平安時代から続く民俗芸能。

「花園の御田の舞」は、隔年旧暦の正月8日頃に遍照寺で奉納上演される国指定重要無形民俗文化財の民俗芸能。平安時代中期から継承され、田の神を敬い1年の豊作を祈願します。収穫の喜び、人々の関わり合いを華やかに表現しています。

家族で楽しむ産業まつり。

毎年11月にかつらぎ公園、河川敷で開催される「かつらぎ町産業まつり」では、町の農産物の販売や「フルーツマーケット」、和太鼓演奏のほか、約350人のチームで競う三輪車4時間耐久レースが人気のイベントです。

世界遺産 紀伊國二之宮、
一七〇〇年以上前創建の古社。



日本最大規模、春日造りの四社殿は
敵かに凜として。

高野山と周辺の社寺とその参詣道は、平成16年に「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産に登録されたことは、ぶらり旅で何度か紹介しました。

かつらぎ町天野に鎮座する丹生都比売神社もこの世界遺産のひとつで、丹生都比売大神(にうつひめのおおかみほか)四神を祀る古社。この丹生都比売神社は、お伊勢さんの妹神である丹生都比売命を祀る全国180余社の総本社でもあります。元寇の時に幕府がこの神社に祈願をかけ、大風が吹き国難を救ったことから、紀伊國の之宮ともなりました。壮麗な彫刻と彩色が施された本殿四殿は、春日造りで最大の規模を誇り、楼門とともに国の重要文化財になっています。鏡池に架かる朱塗りの太鼓橋は、里山の四季折々の風景に美しく映えます。



丹生都比売神社の宮司、丹生晃市さん



奥には四神をお祀りしている4つの社殿が

丹生都比売神社と弘法大師、
神と仏が手を繋いだ証がここに。

「今から約1700年前、当社は、紀伊山地の北西部二帯という広大な土地を、応神天皇から神領として寄進されたと伝えられています」
そして、神々が鎮まるこの地に、真言密教の修行の拠点を求めたのが弘法大師です。

「当社は、高野山と非常に関わりが深いです。弘法大師は神さまを大事にし、まず神の守護を願って神社を建てたのです。丹生都比売神社の社と同じ、大きな春日造りの建物で、高野山の山のこえにも建っている。それをお坊さんが守り、お祀りをしていきますよ」

ユネスコは、日本古来の信仰である神道と、インドから東アジアに伝わった仏教がこの地で融合し、現在までその関係が続いている点が「ユニーク(他に類がない)」だと評価しました。
「弘法大師は日本人の古い信仰と上手に融合させ、自らが唐から伝えた新しい仏教である「密教」を広めていこうとした。その拠点を、神の山に築く。つまり、弘法大師は神々に守っていただき、自分の仏教を広めようとしたわけです。このような考え方があってこそ、日本では宗教での争いがありません。丹生宮司は、さらに「でも、弘法大師だけが偉かったわけではなく、それを現代まで約1200年以上受け継いできた人々がいる。それはもつとすごいことだと思いませんか」と問いかけます。



毎年4月第3日曜に行われる花盛祭



午後には渡御(とぎよ)の儀があります

天野の里から山道を登ること約30分、町石道の中間にある二ツ鳥居は、丹生都比売神社の境内の入口です。かつらぎ町高野参詣に訪れた人々は、まず丹生都比売神社に参拝したあと、高野山に登ることが慣習でした。
二ツ鳥居の眼下には、丹生都比売神社と、美しい天野の里が広がっています。



山道の中にドンと現れる二ツ鳥居、敵かな雰囲気です

高野参詣の表参道、天野。
美しく切ない物語を紐といて。



町の南部、標高約450メートルの、四季折々のどかな田園風景が広がる天野盆地。日本書紀に記載があり、古くは神のみが鎮座した聖地天野。随筆家白洲正太郎さんは、その著書「かくれ里」に「二天の一角に開けた広大な野原：こんな静かで、うつろりする山村を私は、知らない」と書いています。そして近年「日本の里100選」にも選ばれました。

この天野の里を守る「天野の里づくりの会」では、世界遺産の保全やウオーキングマップ作り、そば作りや農業体験などに取り組んでいます。また、高野参詣の表参道であった天野は、女性禁制だった高野山のふもととして、恋しい人を想う女性の哀話もたくさん残っています。

横笛の恋塚

平家に仕えた武士、斉藤時頼(ときより)は、横笛という女性に恋をします。しかし身分違いの恋、時頼は想いを断ち切るため、横笛に伝えず、出家します。諸説ありますが、横笛は時頼の後を慕い、ここに庵を結び、恋しい人に会うこともなく19歳で病のため亡くなり、里人の手で庵のそばに葬られたと伝えられています。



貧女の一燈、お照の墓



高野山の奥之院に千年近くの間、光輝いている「貧女の燈」といわれる燈籠があります。お照という少女が、自分の髪を売った金で、養父母の菩提を弔うために献じた一燈です。お照はその後、ここに庵を結び養父母の菩提を弔いつつ生涯を終えたと伝えられています。

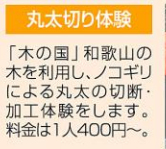
かつらぎ町
フルーツ狩りカレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ぶどう	■											
みかん						■						
もも							■					
りんご								■				
なし									■			
いちじく										■		
柿											■	
かき												■
みかん												■

ほかにも、楽しい体験がたくさん！
ふるさとほんまもん体験



押し花作り体験
花園の草木を使って、しおりやうちわ作り、自然との関わり方や大切さを体験します。料金は1人400円～。



丸太切り体験
「木の国」和歌山の木を利用し、ノコギリによる丸太の切断・加工体験をします。料金は1人400円～。



わら細工作り体験
先人たちの生活の知恵を、ぞうりなどのわら細工作りを通して体験します。料金は1人400円～。

その他の体験、内容・詳細など、詳しくはかつらぎ町役場までお問い合わせを

かつらぎ町では、年中を通じて色々なフルーツが楽しめます。桃、ぶどう、いちじく、梨など、採れる品種は10種類以上。それらの多くが観光農園として、お客さんが気軽にフルーツ狩りができるところに開かれています。その中でも、日本有数の生産高を誇る平核無柿(ひらたねなしがき)、渋柿の品種で、実の中に種のできない変種です。今回は、観光農園をしている門(かど)さんの農園におじゃましました。門さんは農園主、約50年のベテラン。出荷する前の平核無柿を見せていただく、たなごちの手のひらよりも大きくて立派。そして美味しそ。



平核無柿



「フルーツの王国」
かつらぎで幾年月、農園主の夢。

さつそうく柿狩り体験 今回の特徴は、脱渋(だつじゆ)です。狩った柿の切り口部分に31度以上のアルコールを塗布、ビニル袋に密封。門さんがこの作業をして、5～6日間置くことで甘柿になるんですよ。あと、炭酸ガスを使うことで脱渋の仕方もあるよと教えてくれました。柿の渋味成分であるシブアルとシブタンは水溶性で、舌のうらで溶ける渋味を感じます。アルコールに漬けることで溶けない成分に変わり、渋味を感じなくなるんだそう。

平核無柿が木に実っている状態、アルコール入りの袋で果実ひとつひとつを包み、脱渋したものを「紀の川柿」というんだ。すこく手間がかかる分ブランド柿として販売されているよ。普通の柿よりも、黒い色をしているのが特徴。

農園主さんの努力や苦労があって、私たちは季節ごと美味しくフルーツが食べられるんですよ。門さんの農園では脱渋後の柿が食べ放題。9月中旬から10月中旬までの期間で、観光農園を開いています。

かつらぎ町 特産品&お土産

「道の駅 紀の川万葉の里」など、町内でお買い求めいただけます。詳しくはかつらぎ町観光協会まで！



あんぱん

渋柿を独特の製法で乾燥させて作るあんぱん。甘味も増し、半生状態で羊羹のように柔らかい食感。



柿の葉寿司

この地方の郷土料理で、サバの乗ったお寿司を柿の葉で包み、押しをかけたもの。柿の葉には殺菌効果があるそう。



くるみ餅

「くるみ」とは、枝豆をすりつぶした餡(あん)で、お餅を「くるんで」という意味。町の郷土菓子は、素朴な味わい。



柿酢いろいろ

町産の柿を使った柿酢は、りんごジュースと合わせた飲みやすいタイプや、100%柿の本格派など、バリエーション豊か。

かつらぎ町のキャラクターグッズもたくさんあるよ！

- タオル&日本手拭い**
1番人気アイテム。手拭いは、えんじ色にリニューアル!
- エコバッグ&トートバッグ**
大きめのエコバッグと、トートは大きいサイズもあります。
- Tシャツ**
半袖・長袖のほか、ポロシャツやキッズ用Tシャツもあり、家族でお揃いも可能ですよ!
- ストラップ&ぬいぐるみ&リップクリーム**
これさえあれば、カワイイかまおうといつも一緒!

キャラクターグッズはほかにもたくさん! 詳しくはかつらぎ町観光協会HPへアクセス!

イベントで大好評、ご当地グルメ「猪肉コロツケ」。



カウチーローれ
 社会福祉法人「和なごみ福祉会」に併設されている、可愛いインテリアのカフェで猪肉コロツケが食べられます。ほかにもモーニングやランチセット、ケーキなど多彩なメニューが。土日・月はお休みなので注意。

「わむの木」
 レジャーのほか、合宿や研修にも最適な宿泊施設でも、このコロツケを食べられます。

冬季限定の猪肉料理や、山菜料理も注目です。

花岡ふるさとセンター

恐竜ランド&極楽洞

恐竜ランドの看板、大迫力のフロントザウルスは実際に来て見てみて！

迷路のように入り組んだ、夏でも12度くらいのひやりとした洞窟内で、恐竜たちがお出迎え。また、極楽と地獄へ続く道も体験できます。入場料：(大人)800円、(子ども)500円 ※団体割引あり。営業時間：午前9時～午後5時まで 休業日：10月～2月の毎週木曜日

大和街道 初桜酒造主屋

古くから和歌山と大和を結ぶ道として大勢の人々が行き交った大和街道。その沿道にある初桜酒造の主屋、団蔵の仕込蔵は、平成18年3月に国登録有形文化財に登録されました。初桜酒造は、高野山ゆかりの「般若湯」の製造蔵としても知られています。

万葉集 船岡山

万葉集で「背の山に 直に向へる 妹の山 事許せやも 打橋渡す」と詠まれ、また映画「紀ノ川」のロケ地としても知られる船岡山。平安時代、関白藤原頼道が高野参詣の帰りに、この地で舟遊びを楽しんだそう。地元の人には「蛇島」と呼ばれ親しまれています。

ジビエ料理で町おこし、という思いから作られた猪肉を使った「コロツケ」は、かつて町観光協会が考案したご当地グルメで、食材(猪肉・野菜・揚げ油など)は、すべて町産にこだわっています。

すでに町内外のお祭りやイベントで大好評ですが、町内で食べられるお店は、社会福祉法人「和なごみ福祉会」カウチーローれ、花岡ふるさとセンター、そしてかつて総合文化会館2階のシーズンカフェの3カ所。今回は和福祉会で、イベントに出品用のコロツケを一緒に作らせていただきます。

作り方は通常のコロツケと大差はありませんが、猪肉のミンチと玉ねぎのみじん切りを炒めたものを、茹でてつぶしたジャガイモとまぜ、小判型にして揚げます。

このままで、美味しうよ、ゴハン欲しいわね

猪肉は、町内の猟師さんが猟銃を使用しない方法で狩るんだそう。独特の臭いもなく、醤油や黒コショウなどで濃く味つけられているので食べごたえがあります。さらに工夫があり、揚げる前に浸す溶き卵に酢を混ぜることで、衣がサクサクとした美味しいコロツケにできあがるんだって。

町ぐるみで力を合わせて作りあげた、かつて町発のご当地グルメに舌鼓を打つ3人なのでした。

しっかりした濃い味つけて美味しうよ!

ゴハンにもお酒にも合うわっ

温泉&お宿

美嶋温泉

釜めしがオススメの峠のお宿。泉質はナトリウムイオン・カリウム・硫化水素。効能は神経痛・打ち身・胃腸病など。

志賀ふれあい会館

猪、鹿の刺身や鍋料理を堪能できる。豊かな大自然に囲まれた公共のお宿。温泉は、単純硫黄泉。

かつらぎ町をもっと遊ぼう! もっと知ろう!

恐竜館

展示物を見るだけでなく、触れて感じて体験することができる恐竜の資料館。恐竜館の裏には、恐竜オブジェのアスレチックが楽しい公園も。入場料：(大人)300円、(子ども)200円 ※団体割引あり。営業時間：午前9時～午後5時まで 営業期間：4月～9月

蟻通神社 ありとおしんじや

地元で「御豊さん」と呼ばれ、親しまれている知恵の神様。本殿に大きな狛犬があり、その足下をくぐれば病が治ると伝えられています。今回は、普段公開されていない狛犬を見せてもらいました。この狛犬、かの昔に神社近くにある薬師の滝の滝壺に沈んでいたものを引きあげたそう。今でもその滝壺にはもう一体の狛犬が眠っている…かもしれません。